

## 資料・写真協力者及び提供者一覧（五十音順、敬称略）

### ○公共団体

アメリカ合衆国 フィラデルフィア美術館、イエスス会ローマ古文書館、川棚町教育委員会、九州歴史資料館、京都大学総合博物館、京都大学附属図書館、宮内庁三の丸尚蔵館、公益財団法人大阪博物館協会大阪文化財研究所、公益財団法人松浦史料博物館、公益財団法人前田育徳会、神戸市立博物館、国立歴史民俗博物館、西海市教育委員会、佐賀県立博物館、佐世保市教育委員会、島原市教育委員会、神宮文庫、武雄市図書館、歴史資料館、天理大学附属天理図書館、東彼杵町教育委員会、長崎県教育庁学芸文化課、長崎県教育庁新幹線文化財調査事務所、長崎県埋蔵文化財センター、長崎市経済局文化観光部文化財課、長崎市総務局企画財政部市史編さん室、長崎歴史文化博物館、波佐見町教育委員会、久山町教育委員会、松浦市教育委員会、南島原市教育委員会、琉球大学考古学研究室

### ○神社・寺院

安楽寺、医王寺、金崎宮、貴明寺、玉林寺、金泉寺別院医王寺、東前寺、龍登院、正蓮寺、瑞峯院、太良嶽神社、長安寺、富松神社、富泉院、本経寺、本覚寺、松原八幡神社

### ○出版社

株式会社国書刊行会、株式会社小学館、株式会社浜島書店、株式会社吉川弘文館

### ○一般

一瀬幸子、植木順子、浦上正明、大村明子、勝田直子、下川達彌、陳内忠、中山公弘、長瀬雅彦、日本考古学会、野田耕一郎、森隆、森山信孝、山下俊忠、山田静雄、祐徳ハス株式会社

### ○編集協力者

大村市教育委員会

編さん関係者名簿（順不同・敬称略）

平成二十六年一月現在

○大村市史編さん委員会委員

委員長

吉野 哲 大村市副市長

副委員長

田中 誠 大村市元助役

委員

有識者

後藤恵之輔 長崎大学名誉教授

脇田 安大 公益財団法人ながさき地域政

策研究所理事長

高塚かず子 長崎県教育委員会元委員長

福田 年子 長崎県立川棚高等学校元教頭

松尾 洋子 大村市教育委員会委員

船橋 修一 九州教員株式会社代表取締役社

長

黒田 哲夫 大村市教育委員会教育長

専門家

藤野 保 中央大学元教授

清水 紘一 中央大学元教授

満井 録郎 長崎県立大村高等学校元校長

梅田 和郎 長崎県立美術博物館元館長

○大村市史編集委員会委員

委員長 藤野 保 中央大学元教授

副委員長 久田松和則 大村市文化財審議会会長（富松

神社宮司）

委員 松岡 數充 長崎大学大学院教授

阪口 和則 長崎県立大村高等学校元教諭

宮崎 正隆 長崎県立諫早高等学校元教諭

秀島 貞康 諫早市教育委員会文化課元参事

満井 録郎 長崎県立大村高等学校元校長

大石 一久 長崎歴史文化博物館研究グループリーダー

グループ

清水 紘一 中央大学元教授

五野井隆史 東京大学名誉教授

半田 隆夫 福岡女学院大学生涯学習セン

ター講師

久田松和則 大村市文化財審議会会長（富松

神社宮司）

大石 一久 長崎歴史文化博物館研究グループ

リーダー

○第二巻 専門部会

中世部会

部会長

久田松和則 大崎市文化財審議会会長(富松

神社宮司)

委員

藤野 保 中央大学元教授

五野井隆史 東京大学名誉教授

満井 録郎 長崎県立大村高等学校元校長

大石 一久 長崎歴史文化博物館研究グループリーダー

川口 洋平 長崎県企画振興部世界遺産登録推進室係長

寺田 正剛 長崎県教育庁学芸文化課係長

東 貴之 長崎石鍋記録会

梅田 和郎 長崎県立美術博物館元館長

杉谷 昭 佐賀大学名誉教授

長野 暹 佐賀大学名誉教授

柴多 一雄 長崎大学経済学部教授

高野 信治 九州大学大学院比較社会文化研究

院教授

田中 誠 大崎市元助役

大村市元助役

大村市元助役

大村市元助役

○第二巻 執筆者

中世編

久田松和則 大崎市文化財審議会会長(富松

神社宮司)

藤野 保 中央大学元教授

五野井隆史 東京大学名誉教授

満井 録郎 長崎県立大村高等学校元校長

大石 一久 長崎歴史文化博物館研究グループ

リーダー

川口 洋平 長崎県企画振興部世界遺産登録

推進室係長

寺田 正剛 長崎県教育庁学芸文化課係長

竹下 正博 佐賀県立佐賀城本丸歴史館学芸

担当係長

東 貴之 長崎石鍋記録会

盛山 隆行 大崎市市史編さん室嘱託員

○監修者

全巻

久田松和則 大崎市文化財審議会会長(富松

神社宮司)

柴多 一雄 長崎大学経済学部教授

第二巻(中世編)

久田松和則 大村市文化財審議会会長（富松

神社宮司）

大石 一久 長崎歴史文化博物館研究グループ

リーダー

○大村市 市史編さん室

室長 大野 安生

係長 鈴木 伸之

嘱託 盛山 隆行 第二卷担当

佐原 貴子 第二卷副担当

宮本 由香 課内事務、図版作成、資料掲載・

転載確認担当

昭和三十七年に『大村市史』上巻が発行されてより五十年余が経過する。その間には中世期の大村地方に関する史(資)料が数多く出現し、関係論文も夥しく発表されてきた。

人々がもつ「昔」という歴史認識は、近世・江戸時代までが範疇となつている場合が多いのではないのか。それを一代遡る中世の人々の暮らしぶりは、今までは霧の彼方にボンヤリと見える程度であった。しかしこの数十年來、中世史の各分野での研究成果は目を見張るものがある。

この『新編大村市史』第二巻「中世編」においても、一〇名の執筆者によつて、当地方の中世の歴史が格段のレベルで明らかになった。疑問があると言われてきた大村氏の系譜、その鎌倉・室町期の動向、ことに戦国期を遅しく生きた大村氏の戦国大名としての姿と、その末期に展開された日欧関係史・キリシタン史の分野は詳述を極めている。

考古学的成果である石鍋・貿易陶磁器・城郭跡の分野では、物によつて中世人の暮らしぶりが垣間見え始めるであろう。また石造物や宗教関係史料からの物流・経済・思考・祈りへのアプローチは、当地方の研究史のなかでは新しい視点であろう。

ただ残念なのは、中世の幕開けである鎌倉期の大村史にはほとんど手を付け得なかったことである。今後の史料の出現を期待するところである。

本編編さんにあたり史(資)料や図版の提供をいただいた関係各位には、その御配慮に衷心より御礼を申し上げます。

平成二十六年三月

中世部会長 久田松 和則

新編 大村市史 第二卷 中世編

平成二十六年三月三十一日 発行

編集 大村市史編さん委員会  
発行 大村市

〒八五六―八六八六

長崎県大村市玖島一丁目二五番地

電話 ○九五七―五三一四一一(代表)

株式会社 ぎょうせい

〒一三六―八五七五

東京都江東区新木場一丁目一八―二

電話 ○三―六八九二―六六六六

第一印刷株式会社

〒八五六―〇八二〇

長崎県大村市協和町七七四番地一

電話 ○九五七―五三一五一―一